

2023年
5月

県内景況・確報

◎概況 県内景況は、着実に回復しつつある。

●2023年5月 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



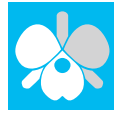
ふつう

個人消費



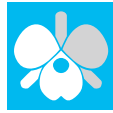
やや良い

建設関連



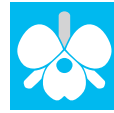
ふつう

観光関連



ふつう

企業倒産



やや良い

雇用状況



やや良い

5月の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月上回りました。百貨店売上高は、前年同月上回りました。耐久消費財である新車販売台数、中古車販売台数共に前年同月上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月上回りました。

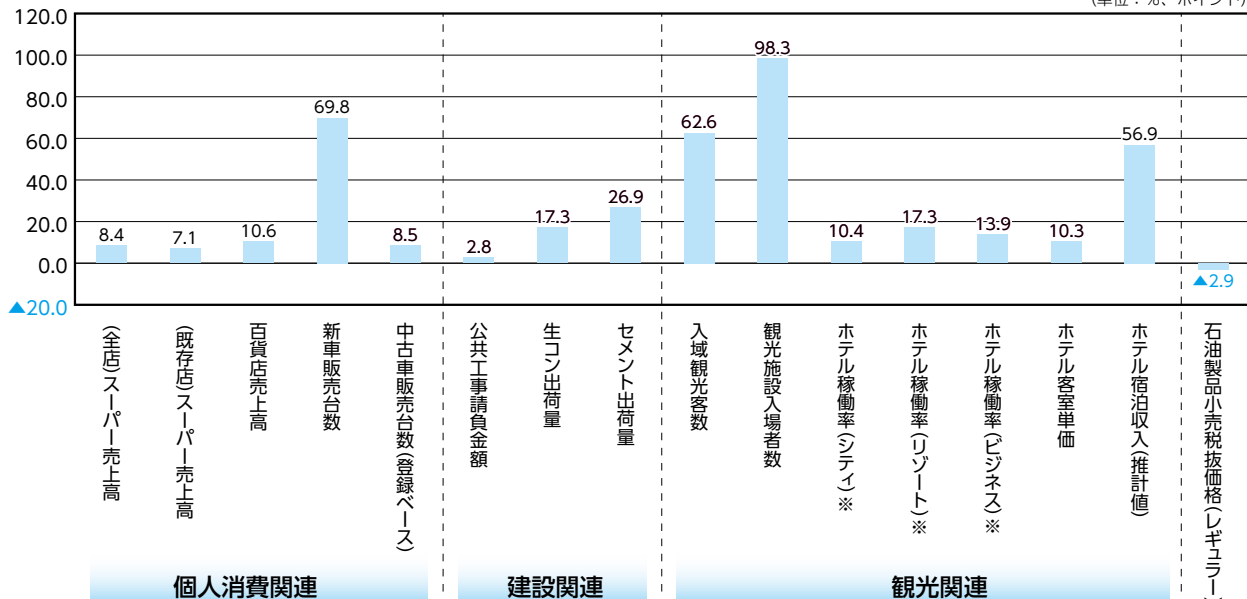
観光関連では、入域観光客数は前年同月上回り、観光施設入場者数も前年同月上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて、前年同月上回りました。ホテル客室単価は前年同月上回り、宿泊収入（推計値）においても前年同月上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも緩やかに回復しています。観光関連は、全国旅行支援の実施や外国人観光客の増加などから着実に回復しつつあります。建設関連は、民間工事に持ち直しの動きがみられます。よって、「**県内景況は、着実に回復しつつある**」と景気判断を据え置きました。

(2023年3月の上方修正から3か月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位：％、ポイント)





個人消費



(やや良い)

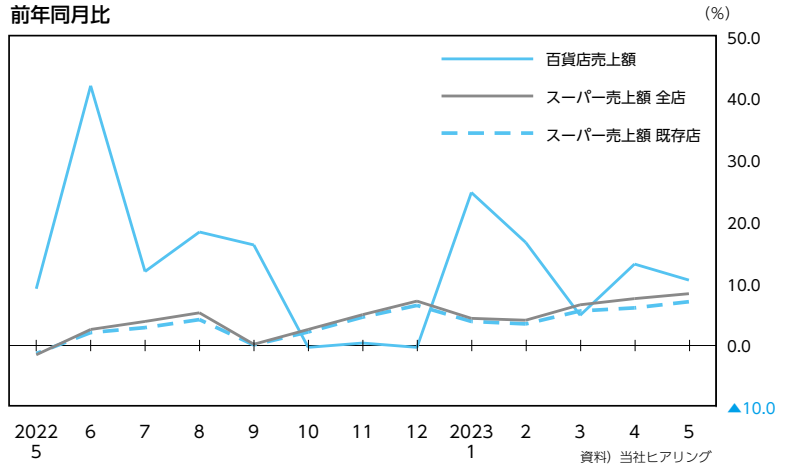
① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

5月の個人消費関連では、スーパー売上高【全店ベース(前年同月比8.4%増)】は、12ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同9.4%増)」は新型コロナウイルスの5類移行に伴う来客数の増加や物価高による単価の上昇、天候要因などにより、前年同月を上回りました。「家庭用品(同4.7%増)」、「衣料品(同7.3%増)」は母の日関連商品の販売好調などにより、前年同月を上回りました。

【既存店ベース(同7.1%増)】は、12ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同8.0%増)」は来客数の増加や物価上昇の影響、月末の台風接近に伴う買いだめなどにより前年同月を上回りました。「衣料品(同4.7%増)」、「家庭用品(同2.4%増)」は母の日関連商品が販売好調だったことなどにより前年同月を上回りました。

(参考値) コロナ禍以前の2019年同月比では、11.5%増となりました。

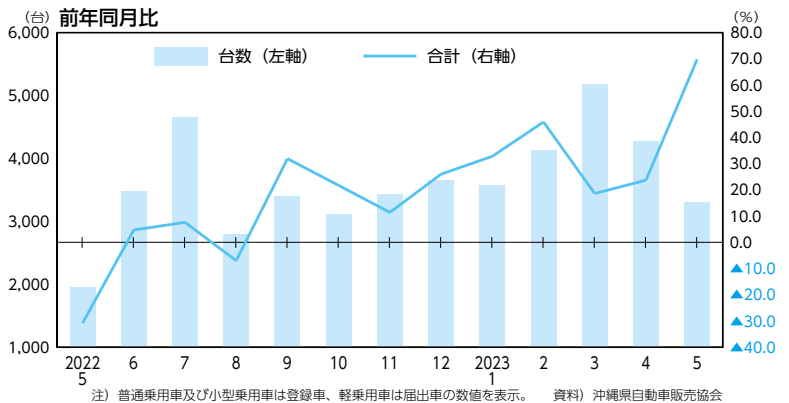
百貨店売上高は、集客増加や免税商品の売り上げ好調などにより前年同月を上回りました(同10.6%増)。品目別では、「衣料品(同9.5%増)」、「身廻品(同2.4%増)」は、新型コロナウイルスの5類移行に伴う来客数の増加や化粧品の売り上げ好調などにより前年同月を上回りました。「食料品(同23.0%増)」は催事企画や母の日関連商品の好調などにより前年同月を上回りました。全体としては5ヵ月連続で前年同月を上回りました。



② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を上回る。

新車販売台数は、全体で3,307台(同69.8%増)となり、9ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「普通乗用車(同103.9%増)」、「小型乗用車(同137.6%増)」、「軽乗用車(同44.4%増)」は供給制限の影響が改善しつつあることやレンタカー需要の増加などにより前年同月を上回りました。

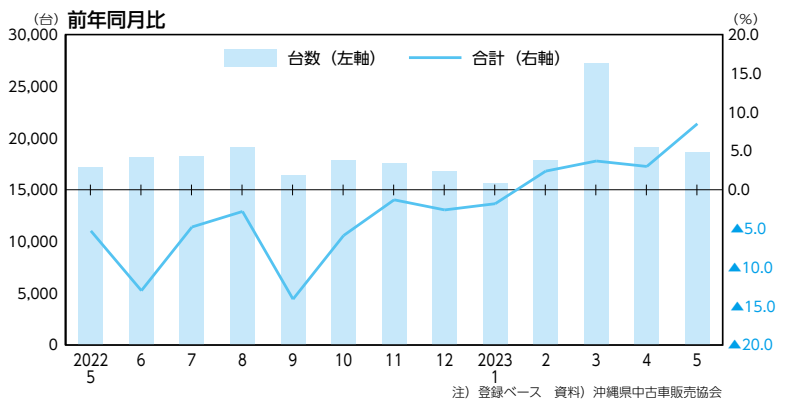
(参考値) コロナ禍以前の2019年同月比では、全体で29.5%減となりました。車種別では、普通乗用車2.6%増、小型乗用車43.9%減、軽乗用車32.2%減となっています。



③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を上回る。

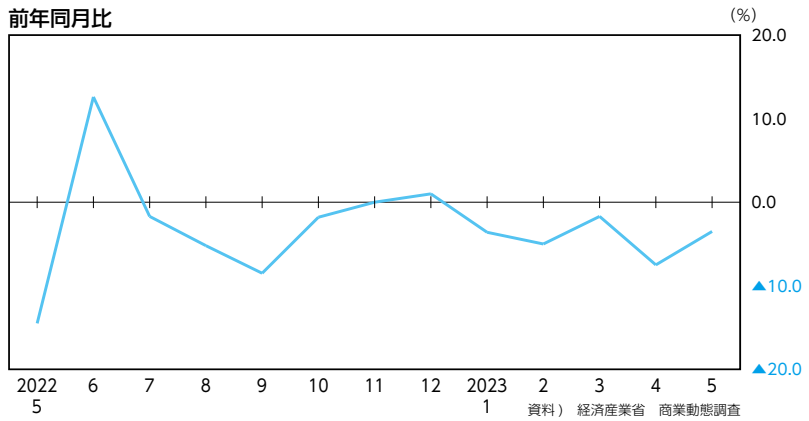
中古車販売台数(登録ベース)は、全体で18,587台(同8.5%増)となり、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「乗用車(同8.3%増)」、「軽自動車(同8.7%増)」は中古車価格相場の落ち着きなどにより前年同月を上回りました。

(参考値) コロナ禍以前の2019年同月比は全体で4.8%減となり、車種別では乗用車7.5%減、軽自動車3.1%減となりました。



④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を下回る。

5月の大型家電専門店販売額は前年同月を下回りました。



建設関連

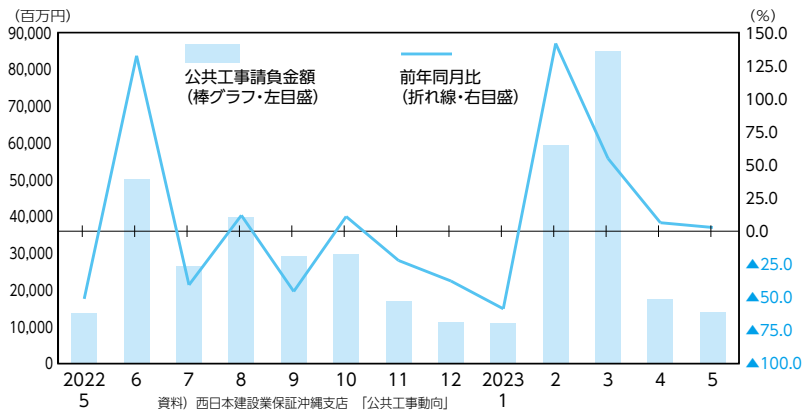


(ふつう)

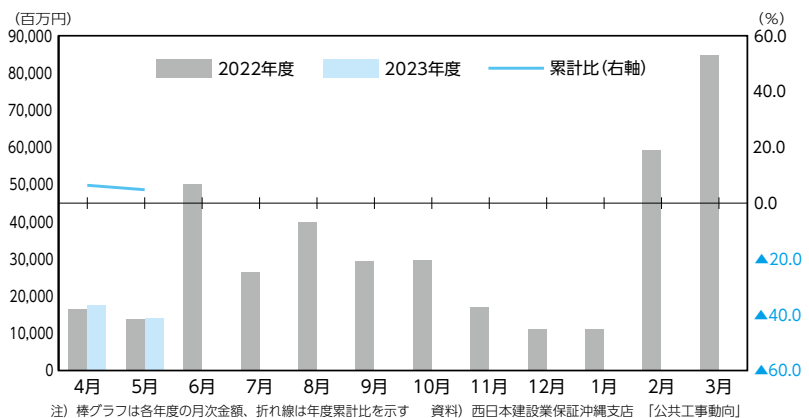
① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

5月の公共工事請負金額は、前年同月比2.8%増の141億1,800万円となりました（4ヵ月連続増）。

発注者別で見ると、「市町村（同116.8%増）」、「国（23.8%増）」は前年同月を上回りました。一方、「その他（同82.6%減）」、「沖縄県（同3.7%減）」は前年同月を下回りました。



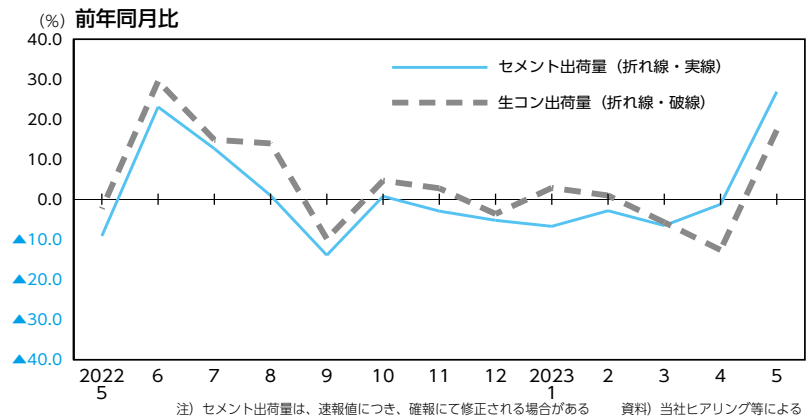
【参考】 公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を上回る。





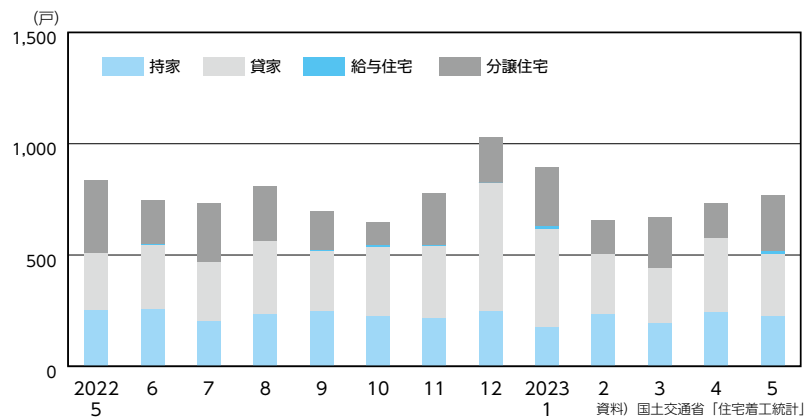
② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

建設資材関連では、生コンの出荷量は17.3%増と3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳をみると、公共工事向けは中南部での出荷が増加したことなどから前年同月を2.3%上回り、民間工事向けは中南部での出荷が増加したことなどから前年同月を25.2%上回りました。セメント出荷量は26.9%増と7ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。



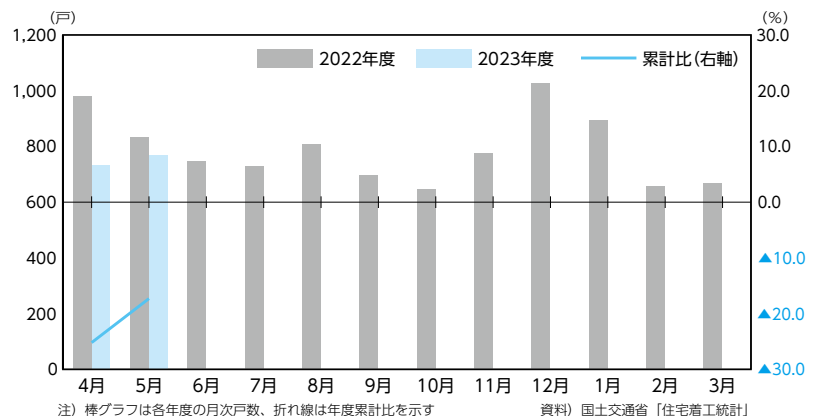
③ 住宅投資…着工戸数は前年同月を下回る。

5月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比8.0%減の768戸となり、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅 (同22.3%減)」、「持家 (同11.4%減)」は前年同月を下回りました。一方、「貸家 (同10.3%増)」、「貸家 (同600.0%増)」は前年同月を上回りました。



【参考】住宅投資(年度累計)…着工戸数は前年同期を下回る。

今年度累計値では、17.3%減となっています。

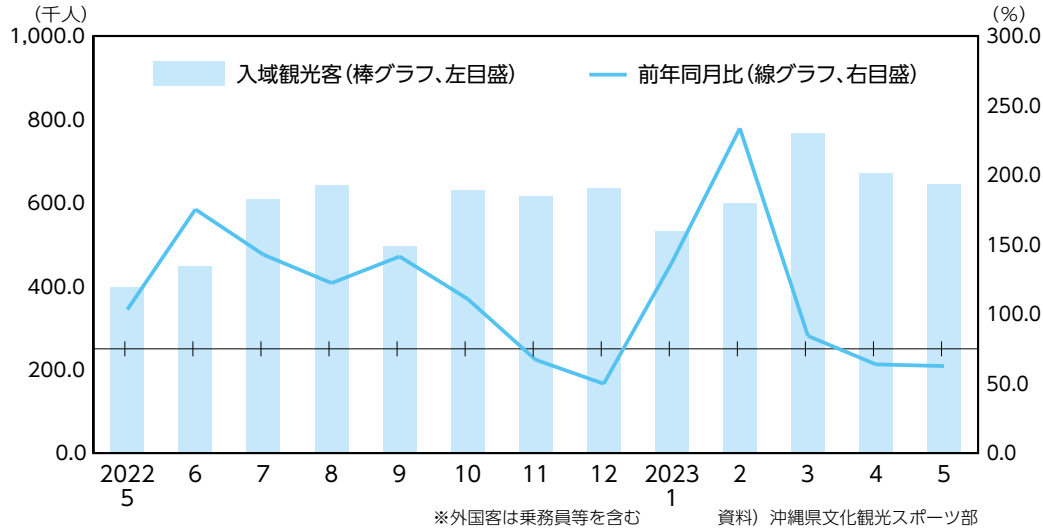


観光関連

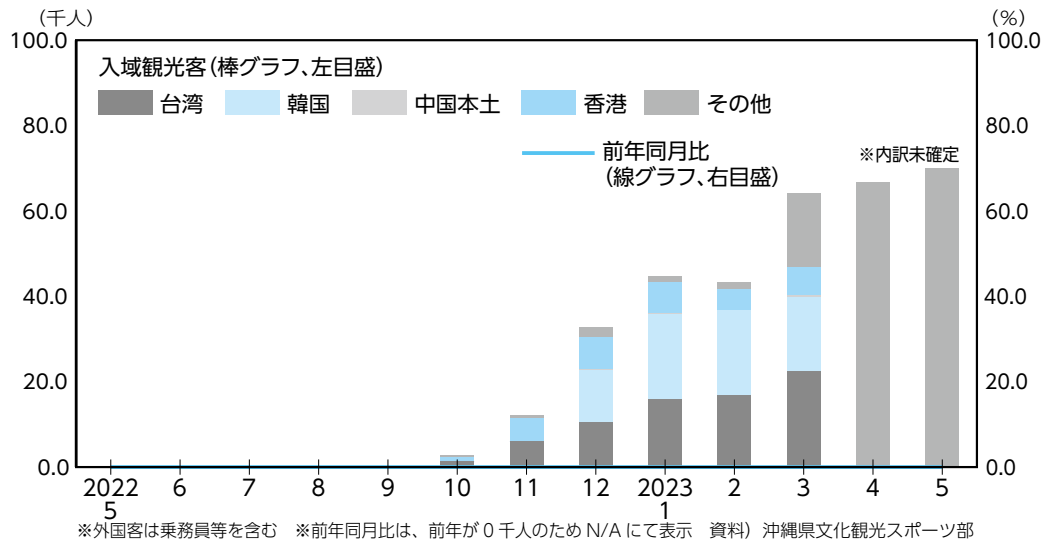


(ふつう)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同月を上回る。



外国客 入域観光客数…70,000人となる。



5月の入域観光客数は、全国旅行支援の継続やGW及び周辺期間の需要増加などから、248,500人多い645,300人(前年同月比62.6%増)となり、18ヵ月連続で前年同月を上回りました。

2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、189,600人減少(22.7%減)と下回っています。

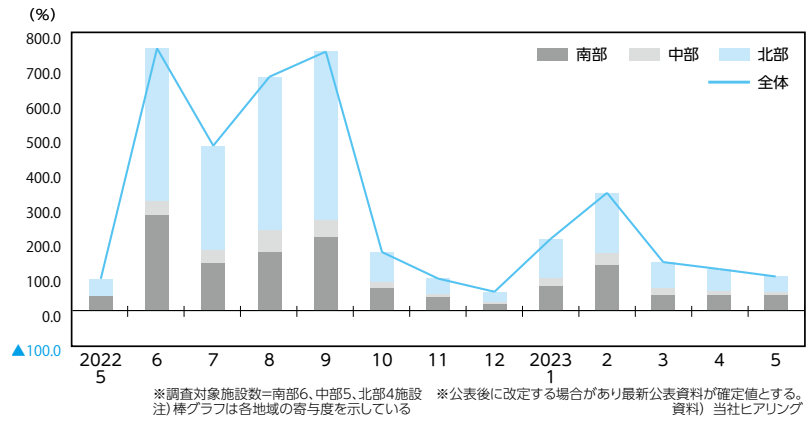
2019年同月比(国内客)では、8,800人増加(1.6%増)となっています。

外国客入域観光客数は、クルーズ船の寄港もあり70,000人となりました(空路63,400人、海路6,600人)。今後も各路線の運航再開・増便やクルーズ船の寄港などにより、外国客数の緩やかな回復が見込まれています。



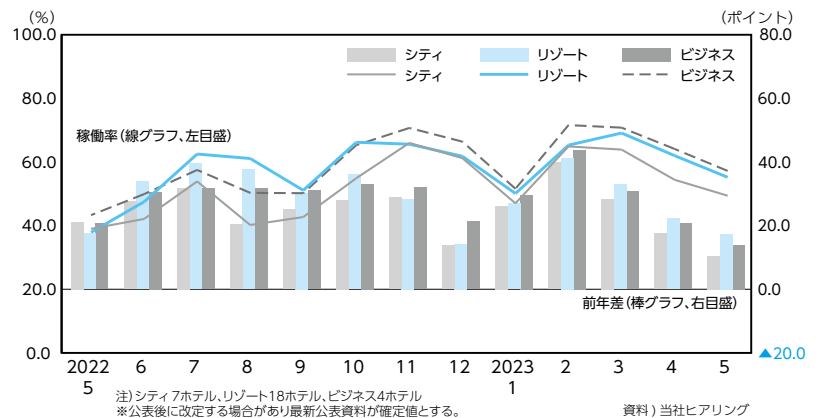
② 観光施設入場者数…前年同月を上回る。

5月の観光施設入場者数は、全国旅行支援の継続やGW期間の需要増加などから、全体では98.3%増となり15ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、北部の観光施設は80.0%増、南部は123.8%増、中部は117.6%増となりました。(参考)2019年同月比では、団体客の減少や2次交通の不足などから、全体で39.5%の減少となりました。内訳では北部の観光施設は34.2%減少、南部は43.0%の減少、中部は49.5%の減少となっています。



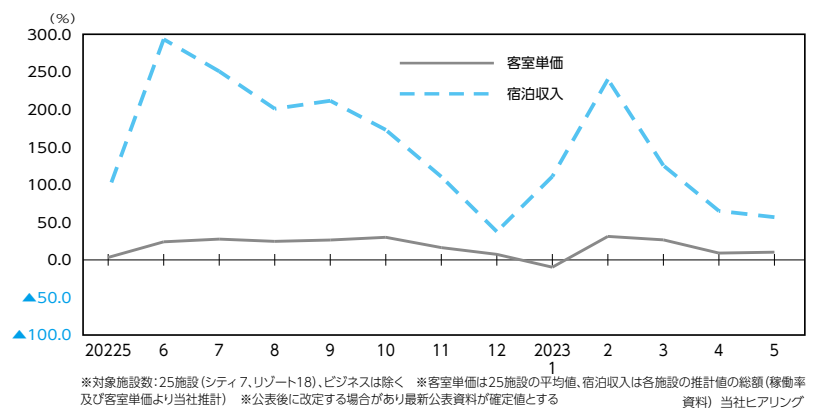
③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて前年同月を上回る。

県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比10.4ポイント増加、リゾートホテルは17.3ポイント増加、ビジネスホテルは13.9ポイント増加しました。全国旅行支援の継続やGW及び周辺期間の需要増加などから、前年同月を上回りました。(参考)2019年同月比では、シティホテルは25.0ポイントの減少、リゾートホテルは21.0ポイントの減少、ビジネスホテルは11.6ポイントの減少となっています。



④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は10.3%増と4ヵ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入においては56.9%増と18ヵ月連続で前年同月を上回りました。(参考)2019年同月比では、客室単価は12.4%の増加、客室収入は17.3%の減少となっています。





企業倒産

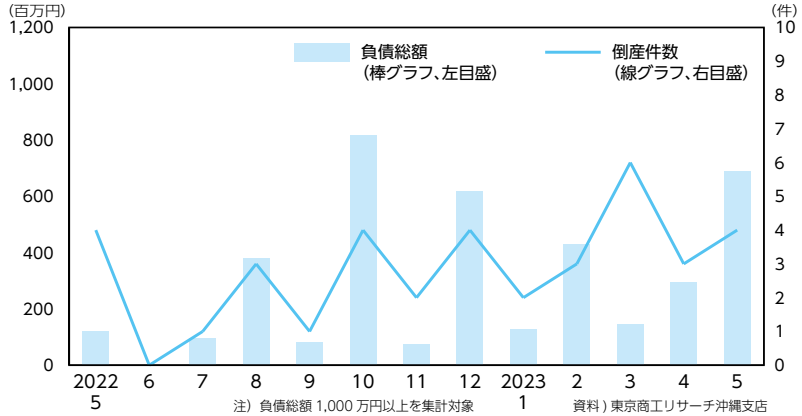


(やや良い)

企業倒産…件数は前年同月と同数、負債総額は上回る。

5月の企業倒産件数は4件（うち大口倒産は3件）となり、前年同月と同数となりました。

負債総額は6億8,900万円となり、前年同月より474.2%上回りました。



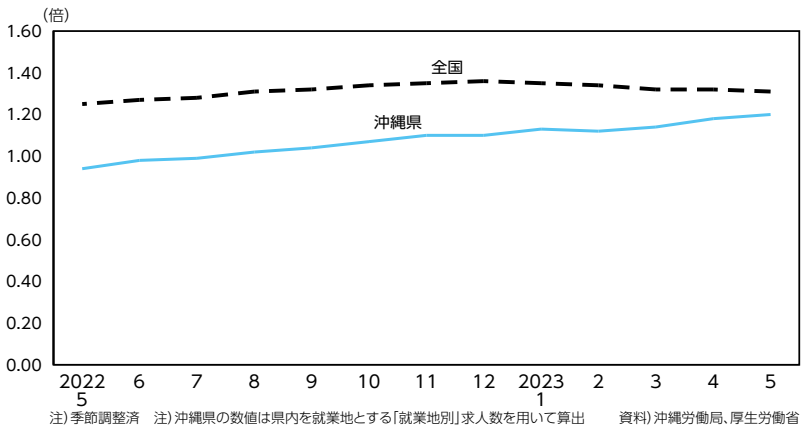
雇用関連



(やや良い)

① 有効求人倍率…沖縄は前月より上昇、全国は低下。

5月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）が前月比2.2%増の34,234人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比0.6%増の28,491人となり、有効求人倍率（季節調整値）は1.20倍と、前月より0.02ポイント上昇となりました。



② 完全失業率…沖縄は前月より低下、全国は同水準。

5月の完全失業率（季節調整値）は、3.7%となり前月より0.3ポイント低下しました。

